SONY

4-279-527-01(2)

ブルーレイディスク™/DVDプレーヤー

取扱説明書

接続と準備

再生

設定

その他

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

BDP-S380

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2～5ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
6ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

⚠警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

禁止

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

禁止

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。

指示

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

分解禁止

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

接触禁止

本機は国内専用です

交流 100V の電源でお使いください。

海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

指示

➡ 次のページにつづく

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

禁止

安定した場所に置く

水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

コード類は正しく配置する

AV ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、すべての AV ケーブルや電源コードを抜く

AV ケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

指示

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

指示

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡ 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ マンガン電池をお使いください。
電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長期間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンの電池フタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡ マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

使用上のご注意

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。
本体の電源ボタンを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。
電源が切れる前にコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

電源を「切」にしているときのご注意

［高速起動モード］が［入］に設定されているときは、電源が「切」の状態でも、ファンが回り続けることがあります。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所、極端に暑い所。

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

BD や DVD、CD を入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることがあります。
配線／接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が冷えた金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽を楽しむときは

映画や音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

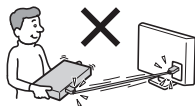
クリーニングディスクについて

レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

HDMI 出力端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI 出力端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。

- ケーブルを差し込むときは、本体後面の HDMI 出力端子とコネクターの形や向きに注意してください。

- 本機を移動させるときは、必ず HDMI ケーブルを抜いてください。

- HDMI ケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HDMI 出力端子に強く押しこんだりしないでください。

著作権保護について

ブルーレイディスク ™ や DVD では、著作権保護技術が採用されています。AACS（Advanced Access Content System）や CSS（Content Scramble System）と呼ばれる著作権保護技術により、再生やアナログ出力に制限がかけられます。AACS の団体が本製品の購入日以降に制限に関する規定を制定または改訂することがあるため、本製品の操作および制限の内容は購入日により異なる場合があります。

著作権／商標について

- 本機は、無許諾の BD/DVD（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- AVCHD および AVCHD ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Java は、Oracle およびその関連会社の商標です。
- "⁝⋯"、"xross media bar" および "XMB" は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Blu-ray Disc は商標です。
- Blu-ray Disc、DVD+RW、DVD-RW、DVD+R、DVD-R、DVD ビデオおよび CD のロゴは商標です。
- BD-LIVE（BD ライブ）と BD-LIVE ロゴ、BONUSVIEW（ボーナスビュー）は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- "x.v.Color" は、ソニー株式会社の商標です。
- "ブラビアリンク" および "BRAVIA Link™" は、ソニー株式会社の商標です。
- "ブラビア プレミアムフォト" および **"ブラビアプレミアムフォト"** は、ソニー株式会社の商標です。
- 本機は Fraunhofer IIS および Thomson の MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- Windows Media は米国および／またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。
本製品には Microsoft の知的財産権の対象である技術が含まれています。Microsoft から使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。
コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™ のコンテンツアクセス技術を利用して、著作権保護コンテンツ等の知的財産を保護しています。本機は PlayReady で保護されたコンテンツおよび／または WMDRM で保護されたコンテンツへのアクセスに PlayReady 技術を利用しています。本機がコンテンツの利用を正しく制限しない場合、コンテンツ所有者は、PlayReady で保護されたコンテンツを利用する機器の能力を取り消すよう Microsoft に要求することができます。この取り消しにより、著作権保護されていないコンテンツまたは他のコンテンツアクセス技術で保護されたコンテンツに影響が及ぶことはありません。コンテンツ所有者は、自らのコンテンツへのアクセスに際し、PlayReady のアップグレードを要求する場合があります。アップグレードを拒否した場合は、アップグレードが要求されるコンテンツにアクセスできないようになります。
- 音楽およびビデオ認識テクノロジーおよび関連データは Gracenote®によって提供されます。
Gracenote は音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、www.gracenote.com をご覧ください。
Gracenote, Inc. 提供の CD、DVD、Blu-ray Disc、音楽およびビデオ関連データ : copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。
Gracenote、CDDB、MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および／またはその他の国にお

➡ 次のページにつづく

ける Gracenote の登録商標または商標です。

- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴ R、新丸ゴ R の各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは省略している場合があります。

目次

安全のために 2
使用上のご注意 6
各部の名前 10

接続と準備

手順 1: 接続する 13
手順 2: かんたん設定 15
ネットワークにつなぐ 15

再生

ディスクを再生する 16
USB 機器を再生する 17
ネットワークを経由して再生する 17
さまざまなオプション 18

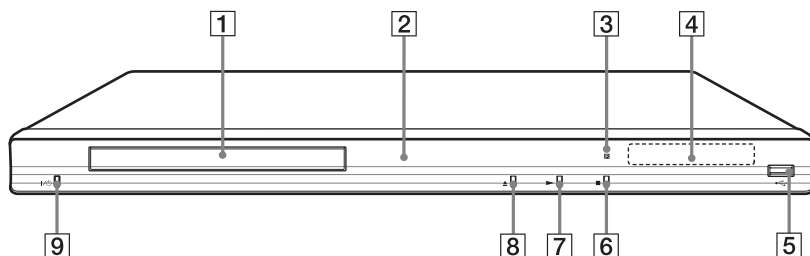
設定

本機の設定を変更する 20
[ネットワークアップデート] 20
[映像設定] 20
[音声設定] 21
[BD/DVD 視聴設定] 22
[視聴年齢制限設定] 23
[ミュージック設定] 23
[本体設定] 23
[通信設定] 24
[かんたん設定] 25
[設定初期化] 25

その他

故障かな？と思ったら 26
保証書とアフターサービス 29
主な仕様 30
索引 34

各部の名前

本体前面

ちょっと一言

►（再生）ボタンには凸（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

1 **ディスクトレイ**

2 **電源ランプ**
電源を入れると白く点灯します。

3 **リモコン受光部**

4 **表示窓**
►、II：再生中または一時停止時に点灯します。
⟲：リピート設定を有効にしているときに点灯します。
HD：720p/1080i/1080p の映像信号が出力されているときに点灯します。

5 **⭠（USB）端子**

6 **■（停止）ボタン**

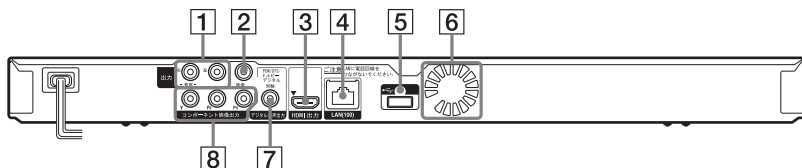
7 **►（再生）ボタン**

8 **⏏（開／閉）ボタン**

9 **I/⏻（電源）ボタン**
本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

ディスクトレイをロックするには（チャイルドロック）

誤ってディスクトレイを開けないようにロックできます。
本機の電源を入れて、本体の ►（再生）ボタンを 10 秒以上押し続けてください。
ディスクトレイをロックしたり、ロックを解除したりできます。

本体後面

1 **音声出力（右／左）端子**

2 **映像出力端子**

3 **HDMI 出力端子**

4 **LAN (100) 端子**

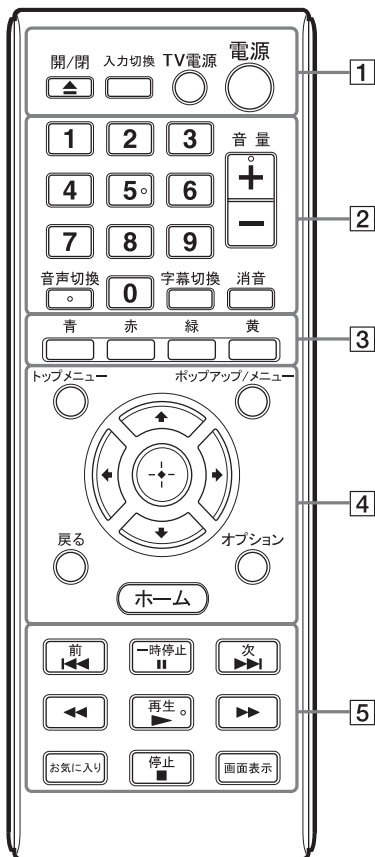
5 **⭠ (USB) 端子**

6 **通気口**

7 **デジタル音声出力（同軸）端子**

8 **コンポーネント映像出力 (Y/PB/PR) 端子**

リモコン

利用できるリモコンの機能は、ディスクや使用状況によって異なります。

ちょっと一言

数字ボタン「5」、音声切換ボタン、音量＋ボタン、および ► 再生ボタンには凸（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

1 **≜ 開／閉**

ディスクトレイを開閉します。

入力切換

テレビの入力を切り換えます。

TV 電源

テレビの電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

電源

本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

2 **数字ボタン**

タイトル／チャプター番号などを入力します。

音量＋／－

テレビの音量を調節します。

音声切換（22 ページ）

視聴している BD-ROM や DVD ビデオにセリフが複数の言語で録音されている場合、言語を選べます。
CD では音声トラックを選べます。

字幕切換 （22 ページ）

視聴している BD-ROM や DVD ビデオに字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。

消音

一時的に音を消します。

3 **カラーボタン（青／赤／緑／黄）**

各種メニューへショートカットできます。

4 **トップメニュー**

BD や DVD のトップメニューを表示または閉じます。

ポップアップ／メニュー

BD-ROM のポップアップメニューや DVD のメニューを表示または閉じます。

オプション （18 ページ）

選択できるオプション機能を画面に表示します。

ホーム

ホームメニューを表示します。
ホームメニューのカテゴリーアイコン上で押すと、壁紙を表示します。

戻る

ひとつ前の画面に戻ります。

←/↑/↓/→

上下左右に動かして項目を選びます。

中央ボタン（決定）

選んだ項目を決定します。

➡ 次のページにつづく

5 ⏮ 前／次 ⏭
前または次のチャプター／トラック／ファイルの先頭に進みます。

❚❚ 一時停止
一時停止または再生を再開します。

◀◀/▶▶（早戻し／早送り）
- 再生中に押すと、早送り再生または早戻し再生します。ビデオ再生中は、押すたびに速さが切り換わります。
- 一時停止中に 1 秒以上押すと、スロー再生します。
- 一時停止中に軽く押すと、コマ送り再生します。

▶ 再生
再生します。

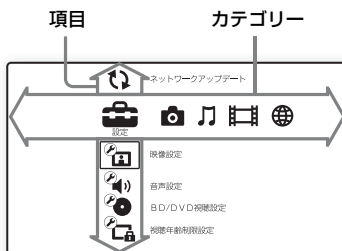
お気に入り（18 ページ）
お気に入りに登録したインターネットコンテンツを表示します。お気に入りのインターネットコンテンツプログラムを 18 件まで保存することができます。

■ 停止
再生を停止すると同時に、停止した位置を記憶します（つづき再生）。
再開する位置は、動画／音楽では最後に停止した位置、写真では最後に再生した写真になります。

画面表示（17 ページ）
再生情報を画面に表示します。

ちょっと一言
ディスクの種類によっては、つづき再生できないものがあります。

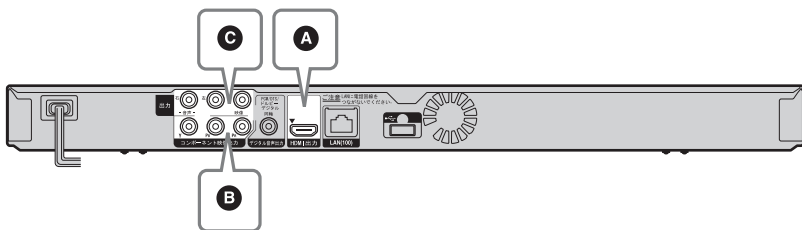
ホームメニュー画面

ホームボタンを押すと、ホームメニューが表示されます。←/→ でカテゴリーを選んでください。↑/↓ で項目を選び、決定ボタンを押してください。

[設定]：本機の設定を変更します。
[フォト]：写真を再生します。
[ミュージック]：音楽を再生します。
[ビデオ]：映像を再生します。
[ネットワーク]：ネットワークの項目を表示します。

手順 1: 接続する

電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
付属品については、「付属品」（30 ページ）をご覧ください。

テレビにつなぐ

お使いのテレビの入力端子をご確認のうえ、つなぎかたを選んでください。つなぐときは、コネクターの色を端子の色と合わせてください。

* コンポーネント映像端子につなぐと、BD-ROM にコピー制御信号が含まている場合 480i の解像度で表示されることがあります（7 ページ）。

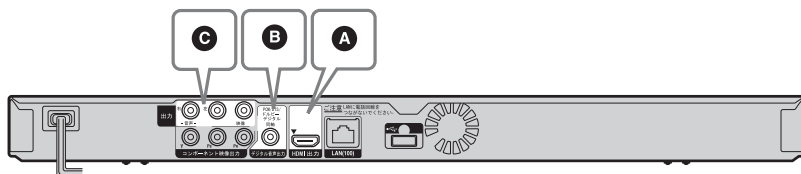
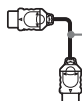
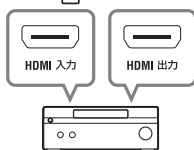
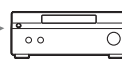
ご注意

本機はテレビに直接つないでください。本機からビデオデッキなどを経由してテレビに信号を出力すると、著作権保護システムの影響により、映像が乱れる場合があります。

➡ 次のページにつづく

接続と準備

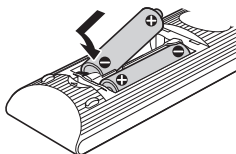
AV アンプにつなぐ

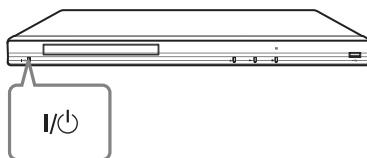
お使いの AV アンプの入力端子をご確認のうえ、つなぎかたを選んでください。Ⓐ または Ⓑ を選んだ場合、［音声設定］を正しく設定してください（21 ページ）。

*1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、ProLogic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

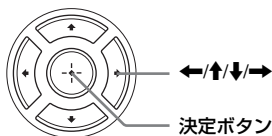
*2 DTS は DTS, Inc. の登録商標です。そして、DTS-HD Master Audio は DTS, Inc. の商標です。
Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,212,872; 7,333,929; 7,392,195; 7,272,567 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS-HD, DTS-HD Master Audio, and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

手順 2: かんたん設定

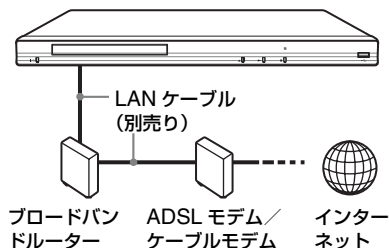
はじめて本機の電源を入れるとき
［かんたん設定］画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

1 **リモコンに単 3 形（R6）乾電池を 2 個入れます。⊕ と ⊖ の向きをリモコンの表示に合わせてください。**

2 **電源コードをコンセントにつなぐ。**

3 **I/⏻（電源）ボタンを押して、本機の電源を入れる。**

4 **テレビの電源を入れ、本機の映像が映るようにテレビの入力を切り換える。**

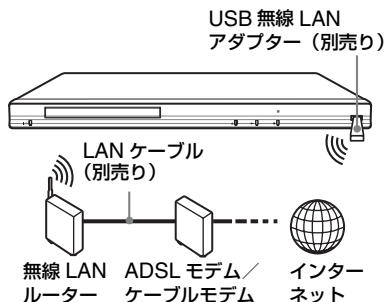
5 **［かんたん設定］を行う。**
リモコンの ←/↑/↓/→ と決定ボタンを使い、画面の指示にしたがって設定してください。

ネットワークにつなぐ

LAN ケーブルで接続する場合

LAN ケーブルを本体の LAN（100）端子につなぎ、インターネットにつなぎます。

ネットワークの設定をするには

［通信設定］の［ネットワーク設定］で［有線 LAN 設定］を選び（24 ページ）、画面の指示にしたがって設定してください。

USB 無線 LAN アダプターで接続する場合

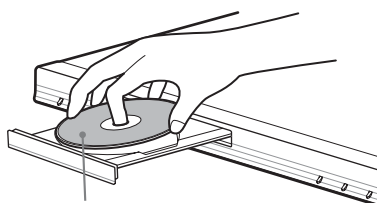
本機の電源を切り、本体前面または後面の USB 端子に USB 無線 LAN アダプター（別売り UWA-BR100（2010 年 10 月現在）のみ）をつないでください。

ネットワークの設定をするには

［通信設定］の［ネットワーク設定］で［無線 LAN 設定（USB）］を選び（24 ページ）、画面の指示にしたがって設定してください。

ディスクを再生する

再生できるディスクについては、「再生できるディスク」（31 ページ）をご覧ください。

1 **テレビの電源を入れ、本機の映像が映るようにテレビの入力を切り換える。**

2 **⏏ 開／閉ボタンを押して、ディスクトレイにディスクをのせる。**

3 **⏏ 開／閉ボタンを押してディスクトレイを閉める。**
再生が始まります。
再生が自動的に始まらない場合、[ビデオ]、[ミュージック]、または[フォト]でを選び、決定ボタンを押してください。

BONUSVIEW（ボーナスビュー）や BD-LIVE（BD ライブ）を楽しむ

BD-LIVE ロゴ＊が記載された BD-ROM には、スペシャルコンテンツ (BONUSVIEW) や、ネットワークからダウンロードして楽しむコンテンツ (BD-LIVE) などが用意されているものがあります。

＊ BD LIVE™

1 **USB メモリーを本体後面の USB 端子に差し込む（10 ページ）。**
容量 1GB 以上の USB メモリーをローカルストレージとして使用してください。

2 **BD-LIVE の準備をする（BD-LIVE のみ）。**
- 本機をネットワークにつないでください（15 ページ）。
- ［BD インターネット接続］を［許可する］に設定してください（23 ページ）。

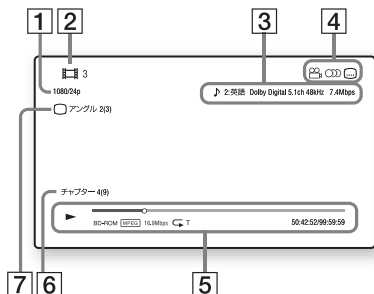
3 **BONUSVIEW（ボーナスビュー）や BD-LIVE（BD ライブ）対応の BD-ROM を入れる。**
操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

USB メモリー内のデータを消去するには、[ビデオ]で［BD データ消去］を選び、決定ボタンを押してください。buda フォルダー内のすべてのデータが消去されます。

再生情報を表示する

画面表示ボタンを押すと、再生情報などを確認できます。
ディスクの種類や本機の状態によって、表示される情報は異なります。

例：BD-ROM の場合

1 出力解像度／フレームレート

2 タイトル番号またはタイトル名

3 音声設定

4 使用可能な機能（アングル／音声／字幕）

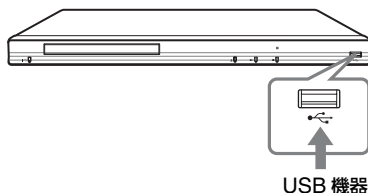
5 再生情報
再生モード／再生位置表示バー／ディスクの種類／ビデオコーデック／ビットレート／リピート設定の種類／経過時間／総時間

6 チャプター番号

7 画面アングル

USB 機器を再生する

USB 機器内のビデオ、音楽、写真を再生できます。
再生できる USB 機器については、「再生できるファイルの種類」（31 ページ）をご覧ください。

1 USB 機器を本機の USB 端子につなぐ。
つなぐ前に USB 機器の取扱説明書をご覧ください。

2 ←/→ を押して、ホームメニューの［ビデオ］、［ミュージック］、または ［フォト］を選ぶ。

3 ↑/↓ を押して ［USB 機器］を選び、決定ボタンを押す。

ネットワークを経由して再生する

インターネットビデオ

インターネット上のさまざまなコンテンツを本機で再生できます。

ちょっと一言

インターネットコンテンツを楽しむには、登録が必要なものがあります。
詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bd-player/

1 インターネットビデオの準備をする。
本機をネットワークにつないでください（15 ページ）。

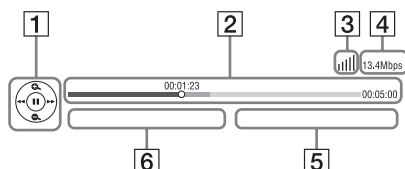
→ 次のページにつづく

2 ←/→ を押して、ホームメニューの [ビデオ]、♫[ミュージック]、または [フォト] を選ぶ。

3 ↑/↓ を押してコンテンツプロバイダーのアイコンを選び、決定ボタンを押す。
インターネットコンテンツリストが未取得の場合、未取得アイコンが表示されます。

コントロールパネルを使うには

タイトルの再生が始まると、コントロールパネルが表示されます。表示される項目は、コンテンツプロバイダーによって異なります。

もう一度表示させるには、画面表示ボタンを押してください。

1 ボタン操作
←/↑/↓/→ または決定ボタンを押して、再生操作を行います。

2 再生情報
ステイタスバー／再生位置／再生時間／タイトル全体の再生時間

3 ネットワークの接続状況
は無線 LAN 接続の電波強度を表します。
は有線 LAN 接続を表します。

4 ネットワーク通信速度

5 次のタイトル名

6 再生中のタイトル名

さまざまなオプション

オプションボタンを押すと、さまざまな設定や再生中の操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

共通オプション

項目	できること
[リピート設定]	リピートモードを設定します。
[お気に入り一覧]	お気に入りリストを表示します。
[再生 / 再生停止]	再生を開始または停止します。
[始めから再生]	タイトルを始めから再生します。
[お気に入りに追加]	インターネットコンテンツをお気に入りリストに追加します。
[お気に入りから消去]	インターネットコンテンツをお気に入りリストから削除します。

[ビデオ] のみ

項目	できること
[画音同期調整]	映像と音声とのずれを補正します。音声出力を映像出力より遅らせます（0 ～ 120 ミリ秒）。
[画質設定]	• [画質モード]：視聴環境の明るさに合わせて画質を設定します。 • [FNR]：画面上にざわざわと発生するランダムなノイズ成分を低減します。 • [BNR]：画面上にモザイクのように現れるブロックノイズを低減します。 • [MNR]：映像の輪郭部に現れる細かいノイズ（モスキートノイズ）を低減します。
[再生一時停止]	再生を一時停止します。
[トップメニュー]	BD や DVD のトップメニューを表示します。

項目	できること
[メニュー/ポップアップ]	BD-ROMのポップアップメニューやDVDのメニューを表示します。
[タイトルサーチ]	BD-ROMやDVDビデオのタイトルを検索し、先頭から再生します。
[チャプターサーチ]	チャプターを検索し、先頭から再生します。
[映像切換]	BD-ROMやDVDビデオに他のアングルからの映像が記録されている場合、映像を切り換えます。
[IPコンテンツノイズリダクション]	インターネットコンテンツの画質を調整します。
[ビデオ検索]	Gracenoteのデータベースを利用して、BD-ROM/DVD-ROMの情報を表示します。 [ビデオ]または[キャスト]を選択すると、Gracenoteから取得したキーワードを利用して、関連情報を検索します。[再生履歴]または[検索履歴]を選択すると、タイトルリストを表示します。

♫[ミュージック]のみ

項目	できること
[スライドショーのBGM登録]	USBメモリー内の音楽ファイルを、スライドショーのBGMに登録します。
[ミュージック検索]	Gracenoteのデータベースを利用して、CD（CD-DA）の情報を表示します。 [アルバム]、[トラック]または[アーティスト]を選択すると、Gracenoteから取得したキーワードを利用して、関連情報を検索します。[再生履歴]または[検索履歴]を選択すると、タイトルリストを表示します。

[フォト]のみ

項目	できること
[スライドショーの速さ]	スライドショーの速さを設定します。
[スライドショーの効果]	スライドショーの表示方法を設定します。
[スライドショーのBGM]	• [切]：BGMを設定しません。 • [My Music（USB）]：[スライドショーのBGM登録]で登録した音楽ファイルをBGMに設定します。 • [音楽CDから再生]：CD-DAのトラックをBGMに設定します。
[スライドショー]	スライドショーを再生します。
[回転（左）]	写真を左回りに90度回転させます。
[回転（右）]	写真を右回りに90度回転させます。

本機の設定を変更する

本機の設定を変更したいときは、ホームメニューの [設定] を選んでください。
お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

1 ←/→ を押して、ホームメニューの [設定] を選ぶ。

2 ↑/↓ を押して設定カテゴリーのアイコンを選び、決定ボタンを押す。

アイコン	説明
	[ネットワークアップデート]（20 ページ） 本機のソフトウェアをアップデートします。
	[映像設定]（20 ページ） つないだ端子にあわせた映像設定などをします。
	[音声設定]（21 ページ） つないだ端子にあわせた音声設定などをします。
	[BD/DVD 視聴設定]（22 ページ） BD や DVD を視聴するときの詳細設定をします。
	[視聴年齢制限設定]（23 ページ） 視聴制限の詳細設定をします。
	[ミュージック設定]（23 ページ） スーパーオーディオ CD を再生するときの詳細設定をします。
	[本体設定]（23 ページ） 本体全般の設定をします。
	[通信設定]（24 ページ） ネットワークなど通信の詳細設定をします。
	[かんたん設定]（25 ページ） 基本的な設定を順に行います。
	[設定初期化]（25 ページ） お買い上げ時の状態に戻します。

[ネットワークアップデート]

ネットワークに接続して、本機のソフトウェアを最新の状態にアップデートします。

ちょっと一言

- 2 か月に 1 回程度を目安にネットワークアップデートを行うことをおすすめします。
- アップデートの情報については、以下のホームページでご確認ください。
  http://www.sony.jp/bd-player/

[映像設定]

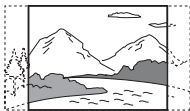
■ [テレビタイプ]

[16:9]：ワイド画面のテレビまたはワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。
[4:3]：画面サイズが 4：3 でワイドモード機能が搭載されていないテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。

■ [画面モード]

[オリジナル]：ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。ワイドテレビでも 4：3 映像を常に 16：9 で表示します。
[横縦比固定]：映像の横縦比は維持したまま、映像サイズをテレビの画面サイズに合わせて変更します。

■［DVD ワイド映像表示］
［レターボックス］：ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。

［パンスキャン］：ワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

■［シネマ変換モード］
［自動］：通常はこの設定にしてください。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動で素材に合わせた変換方法に切り換えます。
［ビデオ］：記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

■［出力映像解像度設定］
［HDMI］：通常は［自動］を選んでください。ディスクに記録された解像度で出力するときは、［オリジナル解像度］を選んでください。解像度が SD 解像度より低い場合、SD 解像度にして出力されます。
［コンポーネント映像］：お使いのテレビに合わせて解像度を選んでください。
［映像］：自動的に最も低い解像度に設定します。

ちょっと一言

- HDMI 出力端子とそのほかの映像出力端子に同時につないでいるときは、［コンポーネント映像］を選んでください。
- ［HDMI］または［コンポーネント映像］に設定しているときに画面に何も表示されない場合、そのほかの設定を選んでください。
- BD-ROM にコピー制御信号が含まれている場合、コンポーネント映像出力端子につなぎ、[コンポーネント映像] を選んだ場合も、480i の解像度でのみ表示されます。

■［BD/DVD-ROM 1080/24p 出力］
［自動］：1080/24p 対応のテレビに HDMI 接続しているとき、1920 × 1080p/24 Hz の映像信号を出力します。
［切］：お使いのテレビが 1080/24p に対応していないとき、この設定を選んでください。

■［HDMI 映像出力フォーマット］
［自動］：お使いのテレビの種類に応じて、自動で映像信号の色空間を設定します。
［YCbCr (4:2:2)］：YCbCr 4:2:2 の映像信号を出力します。
［YCbCr (4:4:4)］：YCbCr 4:4:4 の映像信号を出力します。
［RGB］：RGB の映像信号を出力します。

■［HDMI Deep Color 出力］
［自動］：通常はこの設定にしてください。
［16bit］、［12bit］、［10bit］：Deep Color 対応のテレビにつないでいるとき、16 ビット／ 12 ビット／ 10 ビットの映像信号を出力します。
［切］：映像が不安定、または色が不自然なとき、この設定を選んでください。

■［一時停止モード］
［自動］：通常はこの設定にしてください。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。
［フレーム］：動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

［音声設定］

■［HDMI 音声出力］
［自動］：通常はこの設定にしてください。本機につないだ HDMI 機器の状態に応じて、最適な音声信号を出力します。
［PCM］：HDMI 出力端子から PCM 信号を出力します。

■［DSD Output モード］
［入］：スーパーオーディオ CD を再生しているとき、HDMI 出力端子から DSD 信号を出力します。この場合、その他の端子からは信号を出力しません。
［切］：スーパーオーディオ CD を再生しているとき、HDMI 出力端子から PCM 信号を出力します。

➡ 次のページにつづく

■［BD 音声 MIX 設定］
［入］：セカンダリーオーディオ・インタラクティブオーディオが含まれる BD を再生するとき、それらを混合して出力します。
［切］：プライマリーオーディオのみ出力します。HD 音声信号を AV アンプに出力したいとき、この設定を選んでください。

■［ドルビーデジタル］
［ダウンミックス PCM］：リニア PCM 信号に変換（ダウンミックス）して出力します。ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。
［ドルビーデジタル］：ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。

■［AAC］
［ダウンミックス PCM］：リニア PCM 信号に変換（ダウンミックス）して出力します。AAC デコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。
［AAC］：AAC デコーダー内蔵のオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。

■［DTS］
［ダウンミックス PCM］：リニア PCM 信号に変換（ダウンミックス）して出力します。DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。
［DTS］：DTS デコーダー内蔵のオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。

■［DTS Neo:6］
[シネマ]：DTS Neo:6 シネマモードで、2 チャンネルの音源から、擬似的にマルチチャンネル信号をつくりだして、HDMI 端子から出力します。マルチチャンネル入力に対応した機器につないでいるとき、この設定が有効です。
[ミュージック]：DTS Neo:6 ミュージックモードで、2 チャンネルの音源から、擬似的にマルチチャンネル信号をつくりだして、HDMI 端子から出力します。マルチチャンネル入力に対応した機器につないでいるとき、この設定が有効です。
［切］：元の音源と同じチャンネル数の信号を、HDMI 端子から出力します。

■［オーディオ DRC］
［自動］：ディスクによって定められたダイナミックレンジで再生します（BD-ROM のみ）。他のディスクの場合、［入］と同じレベルで再生します。
［入］：標準的な音になります。
［切］：迫力のある音になります。

■［ダウンミックス］
［サラウンド］：サラウンド効果のかかった音声信号を出力します。ドルビーサラウンド（プロロジック）または DTS Neo:6 対応のオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。
［ステレオ］：サラウンド効果のかかっていない音声信号を出力します。ドルビーサラウンド（プロロジック）または DTS Neo:6 に対応していないオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。

［BD/DVD 視聴設定］

■［BD/DVD メニュー言語］
BD-ROM/DVD ビデオメニューに表示する言語を設定します。
［言語コード指定］を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。
「言語コード一覧」（33 ページ）を参照して、言語コードを入力してください。

■［音声言語］
BD-ROM や DVD ビデオ再生時の音声の言語を設定します。
［オリジナル］を選ぶとディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
［言語コード指定］を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。
「言語コード一覧」（33 ページ）を参照して、言語コードを入力してください。

■［字幕言語］
BD-ROM や DVD ビデオに記録されている字幕の言語を設定します。
［言語コード指定］を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。
「言語コード一覧」（33 ページ）を参照して、言語コードを入力してください。

■［BD ハイブリッドディスク再生層］
［BD］：BD 層を再生します。
［DVD/CD］：DVD 層または CD 層を再生します。

■［BD インターネット接続］
［許可する］：通常はこの設定にしてください。
［許可しない］：インターネット接続を禁止します。

［視聴年齢制限設定］

■［暗証番号設定］
視聴制限のための暗証番号を設定または変更できます。暗証番号を設定すると、視聴制限がある BD-ROM、DVD ビデオ、およびインターネットビデオの視聴や再生を制限できます。必要に応じて、BD-ROM、DVD ビデオ、およびインターネットビデオに、違う制限レベルを設定できます。

■［視聴年齢制限使用地域］
BD-ROM、DVD ビデオ、またはインターネットビデオには、住んでいる国や地域によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4 桁の暗証番号を入力してください。

■［BD 視聴年齢制限］
BD-ROM には、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4 桁の暗証番号を入力してください。

■［DVD 視聴年齢制限］
DVD ビデオには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4 桁の暗証番号を入力してください。

■［インターネットアクセス制限］
［入］：インターネットビデオの利用を制限します。インターネットビデオを利用するには、4 桁の暗証番号を入力する必要があります。
［切］：インターネットビデオの利用を制限しません。

■［インターネットビデオ視聴年齢制限］
インターネットビデオには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4 桁の暗証番号を入力してください。

■［インターネットビデオ Unrated］
［許可する］：視聴年齢制限がないインターネットビデオの再生を許可します。
［許可しない］：視聴年齢制限がないインターネットビデオの再生を禁止します。

［ミュージック設定］

■［Super Audio CD 再生層］
［Super Audio CD］：スーパーオーディオ CD 層を再生します。
［CD］：CD 層を再生します。

■［Super Audio CD 再生チャンネル］
［DSD 2ch］：2 チャンネルエリアを再生します。
［DSD マルチ］：マルチチャンネルエリアを再生します。

［本体設定］

■［本体表示の明るさ］
［明］：明るく点灯します。
［暗］：暗く点灯します。
［消灯］：再生時には消灯します。再生時以外には暗く点灯します。

➡ 次のページにつづく

■［HDMI 機器制御］
［入］：以下のブラビアリンク機能を利用できます。
– ワンタッチプレイ
– 電源オフ連動
［切］：設定を解除します。

ちょっと一言

詳しくは、テレビまたは接続機器の取扱説明書をご覧ください。

■［HDMI 機器制御 テレビ電源切連動］
［入］：つないだテレビの電源が切れると、本機および HDMI 対応機器の電源が自動的に切れます（ブラビアリンク）。
［切］：設定を解除します。

■［高速起動モード］
［入］：電源を入れたときの起動時間を短縮します。
［切］：待機時の消費電力を減らします。

■［自動電源オフ］
［入］：何も操作されないまま 30 分以上が経過すると、電源が自動的に切れます。
［切］：電源は自動的に切れません。

■［自動画面表示］
［入］：タイトルが変わるときや、映像モードや音声信号が変わるときに画面上でその情報を自動的に表示します。
［切］：画面表示ボタンが押されたときのみ、情報を表示します。

■［スクリーンセーバー］
［入］：ホームメニューなど再生映像以外の画面を表示しているとき、何も操作されないまま 10 分が経過すると、画面保護のためスクリーンセーバーを表示します。
［切］：スクリーンセーバーを表示しません。

■［ソフトウェアアップデート通知］
［入］：ソフトウェアの更新情報をお知らせします（20 ページ）。
［切］：ソフトウェアの更新情報をお知らせしません。

■［Gracenote 設定］
［自動］：ディスクの再生を停止したとき、自動でディスク情報をダウンロードします。機能を有効にするには、ネットワークにつないでいる必要があります。
［手動］：［ビデオ検索］または［ミュージック検索］が選択されたとき、ディスク情報をダウンロードします。

■［本体情報］
本機のソフトウェアのバージョンと、MAC アドレスを確認できます。

［通信設定］

■［ネットワーク設定］
前もって本機をネットワークにつないでください。詳しくは、「ネットワークにつなぐ」（15 ページ）をご覧ください。
［接続状態を確認する］：現在のネットワークの状態を表示します。
［有線 LAN 設定］：LAN ケーブルでブロードバンドルーターに直接つなぐとき、この設定を選んでください。
［無線 LAN 設定（USB）］：USB 無線 LAN アダプターを使用するとき、この設定を選んでください。

■［ネットワーク接続診断］
ネットワークに正しくつながっているか、接続診断をします。

■［Media Remote 機器登録］
Media Remote 機器を登録します。
Media Remote の情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://www.sony.jp/support/bd-player/

■［Media Remote 登録機器リスト］
登録された Media Remote 機器のリストを表示します。

[かんたん設定]

[かんたん設定] を再度行い、本機を使うための基本的な設定をします。画面の指示にしたがってください。

[設定初期化]

■ [お買い上げ時の状態に設定]
各設定ごとにお買い上げ時の設定に戻します。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

■ [個人情報の初期化]
本機に保存された個人情報を消去します。

故障かな？と思ったら

本機を使用しているときに以下のような症状が起きたら、修理に出す前にこの項を参考にして点検してください。それでも正常に動作しないときは、お近くのソニーの相談窓口（裏表紙）へお問い合わせください。

映像

映像が出ない、乱れる。

➡ 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください（13 ページ）。
➡ テレビを本機につないでいる入力（「ビデオ」など）に切り換えてください。
➡ 本体の ■（停止）ボタンを 10 秒以上押し続け、出力映像解像度設定を最も低い解像度にリセットしてください。
➡ HDMI 接続のときは、以下を試してください。① 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。② 接続機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。③ HDMI ケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
➡ 著作権保護機能に対応していない DVI 機器と HDMI 出力端子をつないでいないか確認してください。
➡ HDMI 接続のときは、［映像設定］の［出力映像解像度設定］の設定が正しいか確認してください（21 ページ）。
➡ アナログ信号も出力しているときは、［映像設定］の［BD/DVD-ROM 1080/24p 出力］を［切］に設定してください（21 ページ）。
➡ BD-ROM を再生しているときは、［映像設定］の［BD/DVD-ROM 1080/24p 出力］の設定が正しいか確認してください（21 ページ）。

音声

音が出ない、正しく音が出ない。

➡ 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください（13 ページ）。
➡ AV アンプから本機の音声が出るように AV アンプの入力を切り換えてください。
➡ デジタル音声出力端子から音声が出ない場合は、音声設定が正しいか確認してください（21 ページ）。
➡ HDMI 接続のときは、以下を試してください。① 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。② 接続機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。③ HDMI ケーブルを抜き、もう一度差し込んでください。
➡ HDMI 接続で、AV アンプを通してテレビをつないでいるときは、本機に直接テレビをつないでみてください。AV アンプの取扱説明書もご覧ください。
➡ HDMI 出力端子に DVI 機器がつながれている（DVI 端子は音声信号を受け付けません）。
➡ HDMI 出力端子につないでいる機器が、本機の音声フォーマットに対応しているか確認してください。本機の音声設定を確認してください（21 ページ）。

ドルビーデジタルプラスやドルビー TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio などの HD 音声がビットストリームで出力されない。

➡ ［音声設定］の［BD 音声 MIX 設定］を［切］に設定してください（22 ページ）。
➡ つながれたAVアンプがそれぞれのHD音声フォーマットに対応しているか確認してください。

インタラクティブオーディオが出力されない。

➡ ［音声設定］の［BD 音声 MIX 設定］を［入］に設定してください（22 ページ）。

ディスク

ディスクを再生できない。

➡ ディスクが汚れていないか、または歪んでいないか確認してください。
➡ ディスクが裏返しになっていないか確認してください。再生面を下にしてください。
➡ 本機で再生できるフォーマットのディスクか確認してください（31 ページ）。
➡ 他機で録画されたディスクを再生するときは、正しくファイナライズされているか確認してください。
➡ BD や DVD の地域番号（リージョンコード）が本機で再生できる番号か確認してください。

USB 機器

つながれた USB 機器が認識されない。

➡ USB 機器が正しく USB 端子につながれているか確認してください。
➡ USB 機器またはケーブルの端子が汚れていないか確認してください。
➡ USB 機器の電源が入っているか確認してください。
➡ USB ハブを通して USB 機器をつないでいる場合、本機に直接 USB 機器をつないでみてください。

インターネットビデオ

画質または音質が悪い。動きが速いシーンまたは暗いシーンなどで、画面の細部が見えない。

➡ 画質または音質は、インターネットコンテンツプロバイダーによって異なります。
➡ 画質または音質は、通信速度を変更することで改善する場合があります。標準画質の映像を再生するには 2.5Mbps 以上、ハイビジョンの映像を再生するには 10Mbps 以上の通信速度をおすすめします。
➡ 音声のない映像もあります。

映像が小さい。

➡ 映像を拡大するには、↑ を押してください。

ネットワーク接続

本機がネットワークにつながらない。

➡ ネットワークの接続を確認し（15 ページ）、設定を確認してください（24 ページ）。

本機の電源を入れると、[ネットワーク上に新しいソフトウェアバージョンが見つかりました。「ネットワークアップデート」からアップデートを行ってください。] というメッセージが表示される。

➡ 新しいソフトウェアバージョンに更新するため、[ネットワークアップデート]（20 ページ）をご覧ください。

HDMI 機器制御（ブラビアリンク）

[HDMI 機器制御] 機能が働かない（ブラビアリンク）。

➡ [HDMI 機器制御] が [入] になっているか確認してください（24 ページ）。
➡ HDMI 接続を変更したときは、本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
➡ 停電があったときは、[HDMI 機器制御] を一度 [切] にし、その後 [入] に再設定してください（24 ページ）。
➡ 以下を確認してください。
  – 接続機器が [HDMI 機器制御] 機能に対応している。
  – 接続機器の [HDMI 機器制御] 機能の設定が正しい。
➡ AV アンプを通して本機にテレビをつないでいるとき、
  – [HDMI 機器制御] に対応していない AV アンプを通してテレビにつなぐと、正しく機能が働かない場合があります。
  – HDMI 接続を変更したり、電源コードを抜き差ししたり、停電があったりした場合、以下を試してください。① 本

その他

➡ 次のページにつづく

機の再生映像がテレビに映るように AVアンプの入力を切り換えてください。②［HDMI機器制御］を一度［切］にし、その後［入］に再設定してください（24ページ）。お使いのAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

電源切連動が働かない（ブラビアリンク）。

➡［HDMI機器制御］および［HDMI機器制御テレビ電源切連動］の設定が「入」になっているか確認してください（24ページ）。

その他

再生が最初から始まらない。

➡ オプションボタンを押して、［始めから再生］を選んでください。

再生が前回停止した位置から始まらない。

➡ 以下の場合、ディスクによってはつづき再生が解除されます。
- ディスクトレイを開けたとき
- USB機器を取りはずしたとき
- ほかのコンテンツを再生したとき
- 本機の電源を切ったとき

本体表示窓に「LOCKED」または「TLK ON」と表示され、ディスクトレイが開かない。

➡「LOCKED」と表示された場合、本体側でロックされています（チャイルドロック）。解除するには、「UNLOCK」と表示されるまで本体の ▶（再生）ボタンを押してください（10ページ）。

➡「TLK ON」と表示された場合、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

本体の ⏏（開／閉）ボタンを押してもディスクトレイが開かない。

➡ 以下を試してください。① 電源を切って電源コードを抜いてください。② 本体の ⏏（開／閉）ボタンを押しながら電源コードをつなぎ直してください。③ ディスクトレイが開いたら ⏏（開／閉）ボタンをはなしてください。④ ディスクを取り出してください。⑤ 表示窓に「OPEN」と表示されたら、本体の I/⏻（電源）ボタンを10秒以上押し続け、本機の電源を切ってください。

本体表示窓に「Exxxx」または「FAN ERR」と表示される。

➡「Exxxx」と表示された場合、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。その際は、エラーコードをお知らせください。

➡「FAN ERR」と表示された場合、以下を試してください。① 本体後面の通風孔がふさがれていないか確認してください。② 高温になるのを避けるため、風通しのよい場所に設置してください。

本機が正常に動作しない。

➡ 本機の内部が結露していることがあります。結露がなくなるまで、そのまま放置してください（6ページ）。

➡ 本体表示窓の表示が消えるまで、本体の I/⏻（電源）ボタンを10秒以上押し続けてください。
それでもボタン操作に反応しないときは、電源コードをつなぎ直してください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や映像方式の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：BDP-S380
- ディスクの種類：BD-ROM、DVD ビデオ、BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-R など
- つないでいるテレビや AV アンプのメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではブルーレイディスク／ DVD プレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

システム

形式：ブルーレイディスク/DVDプレーヤー

入力／出力端子

（**端子名：**端子の種類／出力レベル／負荷インピーダンス）

音声出力（右／左）：
ピンジャック／2 Vrms／10 kΩ

デジタル音声出力（同軸）：
ピンジャック／0.5 Vp-p／75 Ω

HDMI出力：
19ピン標準コネクター

コンポーネント映像出力（Y/PB/PR）：
ピンジャック／Y：1.0 Vp-p、
PB/PR：0.7 Vp-p／75 Ω

映像出力：
ピンジャック／1.0 Vp-p／75 Ω

LAN（100）端子：
100BASE-TX

USB端子：
Aタイプ（USBメモリー、メモリーカードリーダー、デジタルスチルカメラ、およびデジタルビデオカメラ接続用）

電源・その他

電源：
AC100 V、50/60 Hz

消費電力：
20 W

最大外形寸法：
430 mm × 36 mm × 199 mm
（幅×高さ×奥行き）最大突起含む

本体質量：
約1.7 kg

許容動作温度：
5 ℃ ～ 35 ℃

許容動作湿度：
25 % ～ 80 %

付属品

- 映像／音声ケーブル（1本）
- リモコン（1個）
- 単3形（R6）乾電池（2個）
- 取扱説明書（本書）（1部）
- ソフトウエア等に関する重要なお知らせ（1部）
- 保証書（1部）
- ソニーご相談窓口のご案内（1部）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ディスクの取り扱い上のご注意

- 再生面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔かい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔かい布で拭いた後、さらに乾いた柔かい布で水気を拭き取ってください。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  - 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。

再生できるディスク

BD[*1]	BD-ROM BD-R[*2]/BD-RE[*2]
DVD[*3]	DVD-ROM DVD-R/DVD-RW DVD+R/DVD+RW
CD[*3]	CD-DA（音楽 CD） CD-ROM CD-R/CD-RW スーパーオーディオ CD

*1 BD は新しい規格で日々進化を続けているため、ディスクの種類やバージョンによっては再生できない場合があります。
音源や出力端子、音声設定などにより出力される音質が異なります。

*2 本製品は Ver.2.1 の BD-RE、Ver.1.1、Ver.1.2 および Ver.1.3 の BD-R（LTH を含む）に対応しています。
パソコンで記録した BD-R を本機で再生するには、追記不可能な状態で書き込まれている必要があります。

*3 レコーダーやパソコンで記録した CD または DVD を本機で再生するには、終了情報を記録するファイナライズ処理がされていることが必要です。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。

再生できないディスク

- カートリッジ型 BD
- BDXL
- DVD-RAM
- HD DVD
- DVD オーディオ
- フォト CD
- CD EXTRA のデータ部分
- スーパー VCD
- DualDisc の音楽専用面
- 本機の映像方式（NTSC）と異なる映像方式（PAL など）で記録されたディスク

ディスクについてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠したディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc 及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはコンパクトディスク（CD）規格に準拠していないことから、本製品では再生できない場合があります。

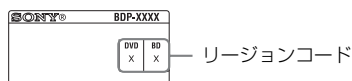
BD/DVD 再生時の操作について

BD/DVD 再生時の操作は、ソフトウェアで決められている場合があります。本機は BD/DVD のソフトウェアにしたがって再生するため、いくつかの機能が使えないことがあります。

2 層 BD や 2 層 DVD の再生について

レイヤー（層）が切り換わるときに映像および音声が一瞬途切れることがあります。

リージョンコードについて（BD-ROM/DVD ビデオのみ）

本機は、本体後面のラベルに記載されたものと同じリージョンコードの BD-ROM/DVD ビデオのみ再生できます。また、ALL がついている DVD ビデオも再生できます。

再生できるファイルの種類

ビデオ

フォーマット	拡張子
MPEG-1 Video/PS[*1] MPEG-2 Video/PS, TS[*1]	「.mpg」、「.mpeg」、「.m2ts」、「.mts」
MPEG-4 AVC[*1]	「.mkv」、「.mp4」、「.m4v」、「.m2ts」、「.mts」
WMV9[*1]	「.wmv」、「.asf」
AVCHD	*2
Xvid	「.avi」

ミュージック

フォーマット	拡張子
MP3 (MPEG-1 Audio Layer III)	「.mp3」
AAC[*1*3]	「.m4a」
WMA9 Standard[*1*3]	「.wma」
LPCM	「.wav」

➡ 次のページにつづく

フォト

フォーマット	拡張子
JPEG	「.jpg」、「.jpeg」

*1 デジタル著作権管理（DRM）などで保護されたファイルは再生できません。
*2 本機はデジタルビデオカメラなどで記録されたAVCHD規格の映像を再生できます。AVCHD規格で記録されたディスクを再生するには、正しくファイナライズ処理がされていることが必要です。
*3 ロスレスなどでエンコードされたファイルは再生できません。

ご注意

- ファイルのフォーマットや圧縮状況、録画状態によって再生できないことがあります。
- パソコンで記録や編集したファイルは再生できないことがあります。
- 本機はBD/DVD/CDまたはUSB機器内の、以下のファイルおよびフォルダーを認識します：
  – 3階層目までのフォルダー
  – 1つの階層にある500番目までのファイル
- USB機器によっては、本機で再生できないことがあります。
- 本機は、マスストレージクラス（MSC）機器（フラッシュメモリーやハードディスクなど）、静止画像キャプチャデバイスクラス（SICD）機器を認識します。
- データの破損や消滅を防ぐために、USBメモリーやUSB機器を抜き差しするときは、本機の電源を切ってください。
- データCD上の高ビットレートのビデオファイルは、なめらかに再生できないことがあります。データDVD上で再生することをおすすめします。

無線LANのセキュリティについて

無線LANによる通信は、電波を利用して行われるため、通信内容を傍受されるおそれがあります。無線通信を保護するために、本機はさまざまなセキュリティ機能に対応しています。接続環境に応じて正しくセキュリティ対策をしてください。

◆セキュリティなし

簡単に設定できますが、特別なツールなどを使わずに誰でも無線電波を受信し、ネットワークに侵入できてしまいます。不正アクセスや通信内容の傍受をされるおそれがあります。

◆WEP

WEPは、通信を暗号化することで、第三者に通信を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりするのを防止します。解読法の知られている古いセキュリティ技術のため、TKIP/AESに対応していない機器をつなぐときのみ、お使いください。

◆WPA-PSK (TKIP)、WPA2-PSK (TKIP)

TKIPはWEPの脆弱性対策を施したセキュリティ技術です。WEPより高度なセキュリティが実現されます。

◆WPA-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES)

AESは、WEPとTKIPとは異なる高度な暗号化方式を使ったセキュリティ技術です。
WEPやTKIPより高度なセキュリティが実現されます。

操作できるテレビのコード番号について

TV電源ボタンを押したまま、数字ボタンでメーカー番号を入力してください。
下の表に複数のメーカー番号がある場合は、実際にお試しいただき、テレビが操作できた番号に設定してください。

メーカー	メーカー番号
ソニー	01*
パナソニック	02、13
東芝	03
日立	04
三菱	05
JVC	06
三洋	07、15
シャープ	08
NEC	09
パイオニア	10
フナイ	14
アイワ	17
サムスン	18、19

* お買い上げ時の設定です。

言語コード一覧

詳しくは、[BD/DVD 視聴設定]（22 ページ）をご覧ください。
言語名表記は ISO639：1988（E/F）に準拠しています。

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani; Dzongkha
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic; Kalaallisut
1299	Cambodian; Khmer
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian; Lao
1332	Lithuanian
1334	Latvian
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Malese; Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi; Panjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi; Rundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho; Sango
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese; Sinhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati; Swati
1514	Sesotho; Sotho southern
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana; Tswana
1535	Tonga; Tonga islands
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

視聴年齢制限／地域コード

詳しくは、[視聴年齢制限使用地域]（23 ページ）をご覧ください。

コード、地域
2044, Argentina
2047, Australia
2046, Austria
2057, Belgium
2070, Brazil
2090, Chile
2092, China
2093, Colombia
2115, Denmark
2165, Finland
2174, France
2109, Germany
2200, Greece
2219, Hong Kong
2248, India
2238, Indonesia
2239, Ireland
2254, Italy
2276, Japan
2304, Korea
2333, Luxembourg
2363, Malaysia
2362, Mexico
2376, Netherlands
2390, New Zealand
2379, Norway
2427, Pakistan
2424, Philippines
2428, Poland
2436, Portugal
2489, Russia
2501, Singapore
2149, Spain
2499, Sweden
2086, Switzerland
2543, Taiwan
2528, Thailand
2184, United Kingdom

索引

あ行

アップデート 20
インターネット
コンテンツ..........12、17
インターネット
ビデオ.......................... 17
［映像設定］.................. 20
お気に入り.................. 12
オプション..........11、18
音声切換...................... 11
［音声設定］.................. 21

か行

画面表示..............12、17
カラーボタン.............. 11
［かんたん設定］...15、25
乾電池.......................... 15
［高速起動モード］ 24
故障かな？と思ったら
.... 26

さ行

再生情報...................... 17
再生できるディスク ...31
視聴年齢制限............... 23
［視聴年齢制限設定］... 23
自動電源オフ............... 24
字幕切換...................... 11
接続する
テレビ.................. 13
ネットワーク 15
AV アンプ 14
［設定］.......................... 20
［設定初期化］.............. 25
ソフトウェア
アップデート......20、24

た行

チャイルドロック
.............................10、28
［通信設定］.................. 24
つづき再生..........12、28
［テレビタイプ］........... 20
電源オフ連動............... 24
トップメニュー 11
ドルビーデジタル........22

な行

［ネットワーク
アップデート］.............20

は行

ビットストリーム........26
ブラビアリンク............27
ブルーレイディスク....31
ホーム 11
ホームメニュー............20
ポップアップ／メニ
ュー 11
本機の設定初期化........25
［本体設定］ 23
本体表示の明るさ........23

ま行

［ミュージック設定］....23

ら行

リージョンコード........31
リモコン 11

わ行

ワンタッチプレイ........24

アルファベット

BD-LIVE 16
BD-R 31
BD-RE 31
［BD/DVD 視聴設定］
......................................22
BONUSVIEW..........16
Deep Colour...........21
［DSD Output モード］
......................................21
DTS 22
［Gracenote 設定］.....24
HDMI......................21
［HDMI 機器制御］
............................24、27
［HDMI 機器制御テレビ
電源切連動 ］..... 24、28
［IP コンテンツノイズ
リダクション ］..........19
MAC アドレス 24
USB 17
WEP.........................32
WPA2-PSK (AES) ...32
WPA2-PSK (TKIP)
.....................................32
WPA-PSK (AES) 32
WPA-PSK (TKIP) 32

ブルーレイディスク/DVD プレーヤーホームページ

本機に関するさまざまな情報を確認できます。
操作情報などについて知りたいときは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bd-player/

本体ソフトウェアのアップデートについて

本体ソフトウェアは、機能向上のため、アップデートされる可能性があります。
アップデートの情報については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bd-player/

「Q&A」ホームページ

お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.jp/support/faq.html

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル…………………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通）0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「103」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙 70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

4-279-527-**01**(2)